

まちなみ通信 No.58

～ 令和5年度修理事業 ② ～



建吉：通りに面した基礎も宮島の石が使われとるが、他にも工夫されとることがえつとあるんじゃ。

伝太郎：どんなことですか。

建吉：まず、持ち送りの大きさじゃのう。ここの前面の道路は、昔より高さがずいぶん上がつとるんじゃ。こ



玄関内部で床面が道路より下がっている様子

れは、修理の時に出てきた昔の敷石から分かったんじゃが、最初に敷石が置かれた時から考えると、この道路は、30 cm以上も高こうなつとるんじゃ。

今の玄関の内側の床面が、昔の道路の高さだったようじゃ。じゃけえ、道路が高こうなつとる分、建物の1階の高さが低うなつとるように見えるんじ

ゃ。持ち送りを本来の大きさでつけるとバランスが悪うなるけえ、持ち送りの大きさも現在の高さに合わせて工夫しとるんじゃ。

伝太郎：そんな工夫がされているんですね。他にはどんな特徴があるんですか。

建吉：宮島の町家は柱が細うてきやしや華奢なものが多いんじゃ。じゃけえ、修理の時に地震にも耐えられるように修理に併せて補強を行つとるんじゃ。その一つが火打梁ひうちはりなんじゃ。

伝太郎：火打梁とは、どんなものですか。

建吉：木造建築の床組みや小屋組みが、変形するこ

とを防ぐために縦方向、横方向の梁の間を、ちょうど直角三角形になるように組まれとる斜め方向の梁のことじゃ。1階の床の下部に設けるんがひうちどだい火打土台、2階などの床や小屋組に設けるもんをひうちはり火打梁つちゅうんじゃ。あと、この反対側の壁に



火打梁 (ひうちはり)

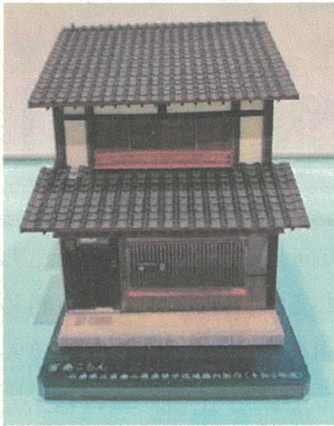
は構造用合板を入れとるんじゃ。この家みたいに古い家は、梁と桁が水平でな

い場合があつてのう、こんなときは火打梁ひうちはりが効かんけえ、構造用合板を使こうて補強をしとるんじゃ。この家もそうじゃが、木造の家は、柱や梁などの軸組で支えられとるんじゃ。これに構造用合板を入れることで壁つちゅう「面」の補強で横からの力に強い家になるんじゃ。構造用合板で造られた壁は横からの力には強いんじゃが、地震の揺れによる力は様々な方向からかかってくるんじゃ。じゃけえ今回は2階の和室の床や天井内に構造用合板でねじれに対しても補強しとるんじゃ。修理じゃあ、まず、外壁のモルタルや鉄板を取って、2階を跳ね出しにしたんじゃが、シロアリに喰われとったけえ、添柱を建てて内側にフレームをつくって支えとるんじゃ。こうやって伝建の修理で耐震補強をすることで、古い建物で生活する人が安心して住めるようになるんじゃ。じゃが、建物の状態や条件で補強するのに何がいいかは違うんじゃ。

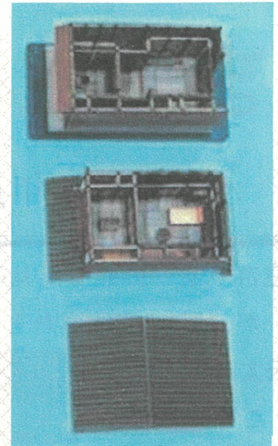


補強のため追加された壁

町家の模型が完成しました。



宮島工業高校建築学科の3年生が取り組んでいた宮島こもんの模型が完成しました。大きさは約100分の1の縮尺で、夏から町家について学び理解を深めながら、何度にも分けて測量を行い、図面を作成、3Dプリンターで製作しました。外観だけでなく、建具なども精巧に作り込まれています。「ぜひ手にとって内部も見たい」との生徒さんからの希望により etto 宮島交流館で公開しています。



みやじまの町家に親しむ会からのお知らせ

雛めぐりと重要伝統的建造物厳妹屋の一般公開

みやじまの町家に親しむ会では、宮島の伝統的建造物をより多くの方に知っていただき、理解を深めることを目的に、桃の節句にあわせて、伝統的建造物の厳妹屋で雛人形を飾り会員が建物などをご案内します。

宮島の重要伝統的建造物は個人の方が所有される建物が多いため、内部を見学できる機会がなかなかありません。

貴重なこの機会に、実際に伝統的建造物を活用されている厳妹屋の内部を見学してみませんか。

併せて、伝統的建造物をお持ちの方を対象として建物の修理の相談もお受けします。

初めて訪れてもなぜか懐かしいそんな宮島の神棚がある厳妹屋の町家で春の訪れを感じてみませんか。

開催時間中は随時、説明や相談の受付を行います。

予約は不要、入場及び参加費は無料です。

お気軽にお立ち寄りください。

日時 令和6年3月3日(日) 11:00~16:00

場所 厳妹屋(宮島町580)

問い合わせ 宮島企画調整課 宮島まちづくり推進係 ☎(0829) 30-9119



厳妹屋

節桃
句の